

SMAP 5人の最後の直筆メッセージから学ぶこと

SMAP 解散してしまいましたね。

ファンでない私も悲しいのだから、ファンの人の心中お察し申し上げます。

ところで、SMAP が最後にファンの方に向けて送った手書きメッセージが話題になっています。

ネットでは慎吾君の文字に非難が集まっているようですが…本当のところはどうなのかな。

こちらが最後の直筆メッセージ。



お世話になりました…だね。
さようなら、だね…。
これじゃ、また、だね…。
稲垣吾郎

みんなが居てくれたから、
求めて、待たてられたから、
やってきました。あつた気分です。

これから、宜しくお願いします。

末村 拓哉

今まで応援ありがとうございました。

ツマラカ時も、楽しい時も、皆さんと
一緒です。これからも、よろしくお願ひします。

草彅 剛

今までSMAPを支え大切に想って下さり

本当にありがとうございました。僕にとって

今までここから一番大切なものは皆様です。

感謝を込めて 稲垣吾郎

SMAPを応援してくれた皆様を

SMAPを

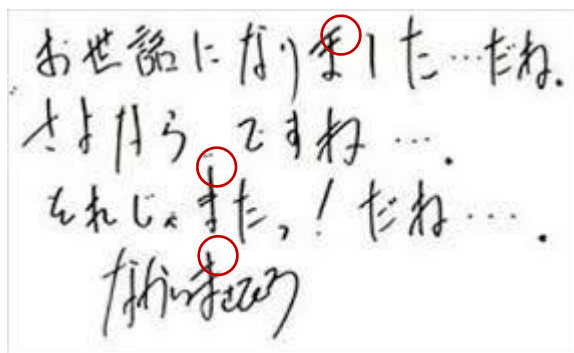
愛しています

ありがとう

香取 慎吾

ということで、5人の筆跡診断を

■ 中居正広さん



「ま」の頭部突出線（横線から上に伸びる縦線の長さ）がまちまち。
長い人はリーダーシップがあり、短い人は協調性が高い。中居君は基本この線が長いのに、いろいろなケースがあるのは自分のスタンスに迷いがあったのかと想像できます。

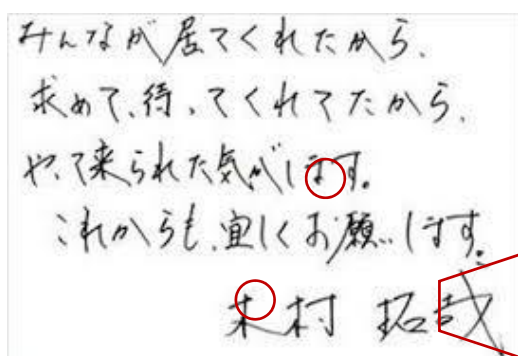
中居君はSMAPのリーダーとしてみんなを明るく盛り上げてきました。

末尾(P.5)に添付したかつてのサインと比べると、大人っぽくなっているように見えますが同時に明るさや勢いもなくなっているようにも見えます。

末尾(P.5)のサインは漢字でこちらはひらがななので、簡単には比べられませんが当時の文字は水平型(右上がりでも左上がりでもない)で、「どっちでもいい」というクールな感じだったが、こちらの文字は比較的強い右上がりになっているところから後半は強い思いや主張を持っていたのかなと想像できます。

リーダーシップ線といわれる頭部突出線がまちまちなのが、何とも中居君の心理状態を物語っているようで、立ち位置も微妙な感じになっていたのかなんて勘ぐってしまいそうです。以前の文字が横広で子供っぽくはあるけれどすごく元気な印象なのに、この文字は縦長である辺りも行動にはだいぶ変化があったのではないかと思います。いずれにしてもお疲れ様でした。

■ 木村拓哉さん



中居君の文字に見られる頭部突出線（横線から上に伸びる縦線の長さ）は、キムタクの文字にはあまり見られませんが、「れ」「哉」など、ところどころに強く出ているので、いざとなったら俺が！という気持ちはあったのかも知れません。普段は周りを気遣い対人関係はスムーズにこなすタイプだと思います。

キムタクの文字は、いかにもスターの字という特徴にあふれています。

- ① 「居」「願」の左払いが長い。これは華やかで目立つことが好きな人の特徴。
- ② 「か」「求」「木」などの右払いが長い。右払いは感情線。共感能力が高い人の特徴。
ただし、いずれも払うというより止めているのであまり引きずらないタイプ。

③ 「哉」が未広がり。下方向、右方向に広がる文字を書ける人は、未広がり安定する成功運を持った人。

キムタクの文字には、中居君の文字のような自然にほとぼしる勢いをあまり感じません。

頭で感じて行動するバランスの人なのだと思います。だからこそ、そのバランスが崩れた

最後の方は苦しかったのではないかと想像します。「ま」「願」の空間(閉空間)がいずれもつぶれ気味なのは、苦しみの表れでしょう。

■ 稲垣吾郎さん、草薙剛さん

今までSMAPを支え大切に想って下さり
本当にありがとうございました。(丸)として
今でもこれからも一番大切なものは皆様です。
感謝を込めて 稲垣吾郎

今まで応援ありがとうございました。
ツマラナイ時も、楽しい時も、皆さんと
一緒に(丸)これからも、よろしく願います。
草薙 剛

お二人の文字には強い癖や特徴があまりみあたりません。素直でまじめな方という印象です。特に自分から強い主張をするわけでもありませんが、基本的に前向きで、仕事をしやすいお二人だと思います。敢えて言うなら、剛君の方が頑固な面を持っているかもしれません。

お二人一緒の分析で恐縮ですが、この二人とても似た筆跡です。

すごく強い特徴があるわけではないけれど、淡々と丁寧に書いている。

二人とも穏やかで、あまり感情の起伏がないタイプ。

「再現性」の高さや標準化という面で、チームのバランスをとる

二人だったのだろうと伝わります。

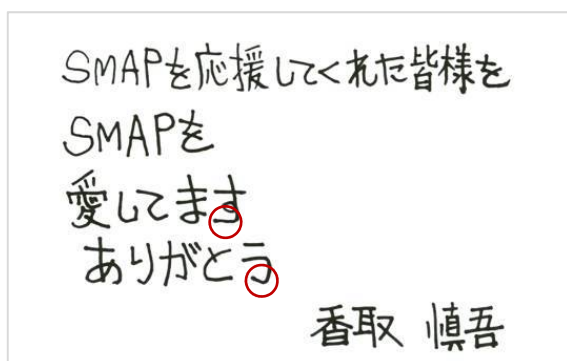
二人ともすごくまじめだけど、敢えて言うなら、草薙剛君の方が

行動力があって、ちょっとミスをしやすいかな。

赤丸は「閉空間」の広さ、二人とも小さくつぶれ気味で、やっぱり

お疲れだったのだろうとわかります。

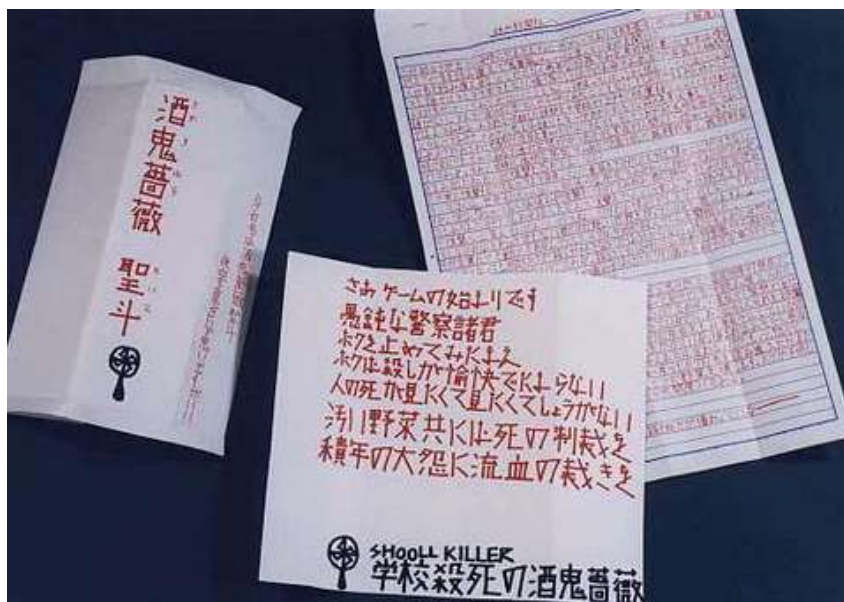
■ 香取慎吾さん



ネットではこの文字を見て「ヤバい！」「サイコパスか」などと言われているようですが、香取慎吾君は典型的な芸術家肌の人。

普通の人にはわかりにくい面があると思います。

この文字を見て「酒鬼薔薇 聖斗を思い出した！」という書き込みもありました。



実際は似てはいないのだけど、似ていると思ってしまった理由は

左払いと右払いがスーツと払えていないこと。

左払いと右払いは感情線。感情を抑えて極度の緊張状態のとき、人はこんな字を書くものなのです(自分の字と知られたくないときも、つい力が入るのでこうなりがち)。

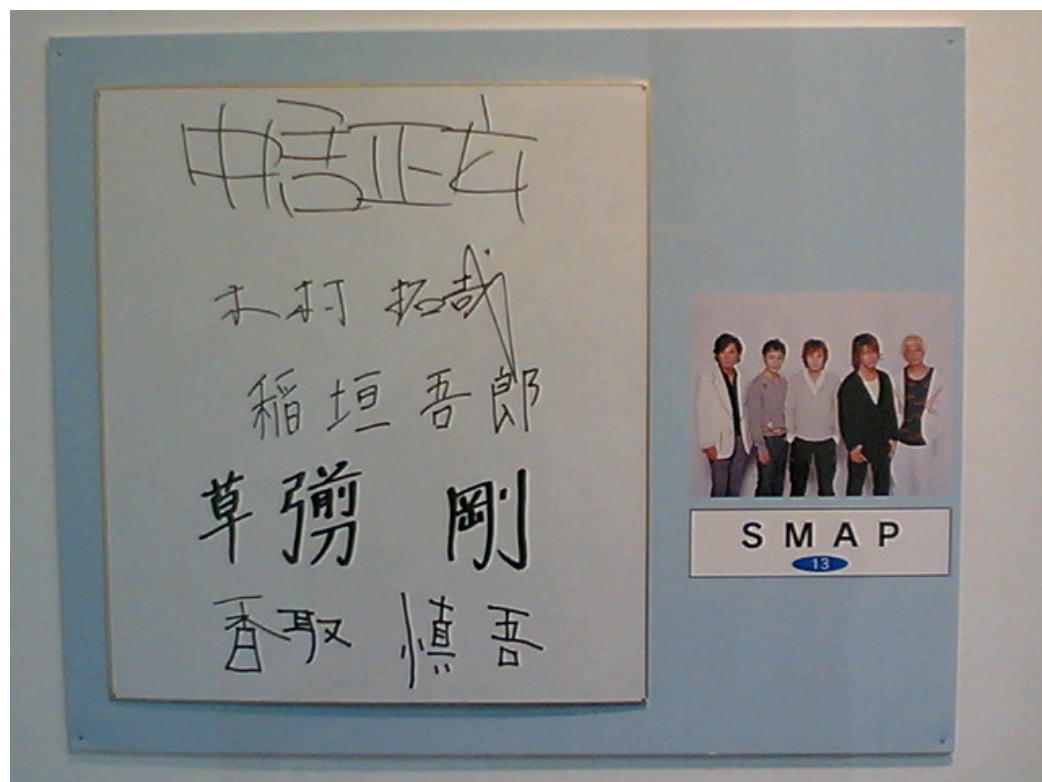
慎吾さんはサイコパスというよりは、緊張を強いられる毎日だったという分析が正しいのではないかと思います。

末尾(P.5)のサインを見ても、まったく特徴が違い同じ人物が書いたとは思えません。

ということは、慎吾さんはいろいろな面を持った複雑な人。

末尾(P.5)のサインの方はちょっと自信なげだけれど、こちらのサインは気持ちも落ち着き、新しい道に向けて割り切った心理のように私は感じます(そうであってほしい)。

■ SMAP かつてのサイン(年代不明)



■ まとめ

SMAP の皆様、それぞれにユニークで魅力的な文字を書いています。
でも、いくら魅力的でセンスがあっても「元気」がないと本領を発揮することができません。

元気とは、上記解説で何度も出てきた「閉空間」のことです。
閉空間とは、「口」に代表される文字の閉じられた空間のこと。
閉空間は書いた人のエネルギータンクだといわれています。
つらいことや悩みがあるとどうしてもこの閉空間が小さくなる傾向があります。
SMAP のみなさまも慎吾君を除く 4 人の閉空間が小さいのがわかります。
中居君の文字は、以前のサインの文字と比べると明らかに小さくなっていますね。

あなたの文字はどうですか？

つらいことがあったときのノードなどを見てみると、たぶん小さくなっていると思います。
今、つらいという人は、意識してこの閉空間を大きく書いてみてください。
自分の美意識に反するほど大きくなくてかまいません。
大きめに書かれた文字を見ると元気が湧いてきますよ！ぜひお試しください。